

第5次福井県保健医療計画に定める数値目標の状況

区分	項目	目標数値(平成24年度末)	平成21年度末
がん	がん検診受診率	50%超	23.90%
	5大がんに関する地域連携クリティカルパスを整備	5大がん	胃がん、大腸がんについて県統一パスを整備
脳卒中	ガイドラインに基づくt-PA治療が可能な医療機関	各医療圏に1箇所以上	各医療圏に1箇所以上
	地域連携クリティカルパス実施医療機関	10箇所以上	12箇所
急性心筋梗塞	AED取扱いを含む救急蘇生法講習会受講者数(20年度～24年度)	延10万人	延8万2千人
	地域連携クリティカルパス実施医療機関	5箇所以上	6箇所
糖尿病	地域連携クリティカルパス実施医療機関	10箇所以上	2箇所
	糖尿病に関する専門知識を有する医療従事者数	毎年 10%以上増	7.4%増
小児医療	#8000子ども医療電話相談事業件数 (18年度相談件数1,471件)	20%以上増	110%増
	時間外に小児輪番制当番病院を受診した入院の必要ない患者の割合	90%以下	95.5%
産科・周産期医療	周産期死亡率	全国10位以内	全国32位
救急医療	救急搬送所要時間	全国10位以内	全国6位
	AED取扱いを含む救急蘇生法講習会受講者数(20年度～24年度)	延10万人	延8万2千人(再掲)
災害時医療	DMATチーム数	8チーム	12チーム
へき地医療	無医地区への巡回診療回数	200回以上	201回
在宅医療	在宅医療推進のためのコーディネーター設置地区	5箇所	5箇所

第5次福井県保健医療計画の取組

	項目	取組事項	平成21年度
			具体的な取り組み内容
医療連携	医療の役割分担と連携	医療機関の役割分担の普及・啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○地域連携クリティカルパスの開発と普及 ・がん【福井県がん診療連携協議会において胃がん、大腸がんについて県統一パスをとって承認】 ・脳卒中【平成20年1月から運用開始】 検討部会で県統一パスとして承認 適用実績 12病院 ・急性心筋梗塞【平成21年4月から運用開始】 検討部会で県統一パスとして承認 適用実績 6病院 ・糖尿病【平成21年10月から運用開始】 検討部会で県統一パスとして承認 適用実績 2病院
		かかりつけ医・かかりつけ歯科医の普及・啓発	○医療機関の医療機能を県のホームページにて紹介するシステムを運用中 病院 76施設 診療所 567施設 歯科診療所 286施設 助産所 24施設(H22.2末現在)
		医療機関の連携	○医療機関同士が、各医療機関の医療機能情報を共有化するシステムを運用中(各医療機関での入院受入の可能な患者の状態 等)
		医療機関の連携機器整備	○今年度策定した地域医療再生計画において、中核病院とかかりつけ医が患者の診療情報を共有できるシステムの構築を目標として定める
		施設・設備整備の支援	<ul style="list-style-type: none"> ○救急医療の体制整備のため、福井社会保険病院の生化学自動分析装置整備に支援 ○脳卒中医療向上のため、福井県済生会病院の脳卒中センター増床に支援 ○透析医療の確保のため、福井赤十字病院の人工腎臓装置整備に支援、福井厚生病院の透析センターの拡充と装置整備に支援 ○安全な医療体制を確保するため、嶺南病院のアスベスト除去に支援
4疾病と5事業	がん	生活習慣の改善、がん予防意識の普及啓発およびがん検診体制の充実・強化	<ul style="list-style-type: none"> ○がん検診の受診促進のため ・市町、JA、商工会による未受診者に対する受診勧奨の実施 ・ショッピングセンター等において「出前がん検診」の実施 ・がん検診推進医の設置 ・肺・大腸がん個別検診体制の整備検討
		がん医療推進センターの整備	<ul style="list-style-type: none"> ○県立病院内に開設している「がん医療センター」において、患者数の最も多い胃がんの「チーム医療」を実施 ○県立病院における外来化学療法体制を拡充
		陽子線がん治療施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○一般の方々への講演会等の開催(年度末までに96回 6,000人以上が受講) ○県内外の医療関係者への説明会等の開催(317人が受講) ○施設の普及に向けた包括的連携に関する協定を19保険会社と締結 ○14県市による「全国粒子線治療促進協議会」を設立し、普及啓発や国等に対する保険適用の要望活動を実施
		がん診療連携拠点病院の機能強化	<ul style="list-style-type: none"> ○がん診療連携拠点病院(県内5病院)による協議会で検討 ・がん登録の推進、緩和ケア研修、医療連携に関する取り組みを協議 ・がん診療連携拠点病院の指定更新にあたり、現行の5病院を引き続き指定
		地域がん医療水準の向上	○福井県がん診療連携協議会において胃がん、大腸がんについて県統一パスをとって承認(再掲)
		医師・看護師等の人材確保・養成	○国立がんセンター等への医療従事者の派遣研修

	項目	取組事項	平成21年度
			具体的な取り組み内容
4疾病 と 5事業	がん	がん登録の向上	○各拠点病院において、がん患者の生存率を把握するため、生存確認調査の方法について検討
		医療情報の提供推進および相談支援体制の整備	○各診療連携拠点病院にて ・セカンドオピニオン受診体制の整備 ・医療実績や専門的にがん診療を行う医師の情報提供実施 ・患者や家族からの相談体制の整備
		緩和医療の推進	各診療連携拠点病院において医師に対する緩和ケア研修会を実施
	脳卒中	早期治療への意識啓発	○福井脳卒中県民講座の開催(2回) ・福井新聞社「風の森ホール」(H21.5.31 180人) ・小浜市働く婦人の家(H21.11.29 40人) ○脳卒中相談事業(相談件数:14件)
		救急搬送体制構築	○各医療圏ごとに設置されているメディカルコントロール協議会において、現状と課題を協議 ○脳卒中医療体制検討部会において、現状と課題を協議
		急性期病院の治療水準向上	○救急医療の体制整備のため、福井社会保険病院に生化学自動分析装置を整備(再掲)
		医療連携の強化	○脳卒中医療体制検討部会において県統一パスとして承認(再掲)
	急性心筋梗塞	AED普及と救急蘇生法講習強化	○AED普及のための講習会開催(H22.2.8現在) ・県 開催回数: 32回 受講人数: 1,350人 ・各地区消防 開催回数:1,188回 受講人数:34,593人 ・日赤福井県支部 開催回数: 216回 受講人数: 7,554人 計43,497人
		医療機関の交流促進	○地域連携クリティカルパスの運用開始にあたり、医療機関を対象にパスの現状と改善点について意見交換会を実施
		医療機関の連携強化	○急性心筋梗塞医療体制検討部会において県統一パスとして承認(再掲)
	糖尿病	発症予防の啓発活動	○世界糖尿病デーにおける普及啓発活動の実施 ・ブルーライトアップin福井2009(H21.11.14 アオッサ1階) 健康相談コーナー、血圧・血糖・HbA1c測定、パネル展示の実施
		医療従事者の専門性強化	○福井糖尿病療養指導担当者教育講習会の開催 ○メタボリック健診普及事業 ・実践者ステップアップ研修(参加状況:121人)
		診療所と病院の連携強化	○糖尿病医療体制検討部会において県統一パスとして承認(再掲)
	小児医療	小児科医の確保	○総合的な医師確保事業の実施(後掲)
		小児救急医療の情報発信	○母子手帳用のリーフレット、ポスターを作成し、#8000電話相談事業と小児救急輪番制について広報を実施。保育所、幼稚園にもポスターを配布。
		医療を受ける側の意識啓発	○救急医療の適正化について、広報を実施(#8000リーフレットの活用)
		小児医療体制の充実	○「小児初期救急センター(仮称)」の設置に向けて、具体的検討を開始

	項目	取組事項	平成21年度
			具体的な取り組み内容
4疾病 と 5事業	産科・周産期医療	産科医師確保	○総合的な医師確保事業の実施（後掲）
		ハイリスク分娩受入体制の安定的確保	○周産期医療協議会で安定的な受入体制を協議 ○福井大学附属病院総合周産期母子医療センターの整備を検討
		妊婦健診受診促進	○健診の原則無料化
		かかりつけ医と周産期母子医療センターの連携継続	○周産期医療協議会で安定的な受入体制を協議
	救急医療	救急と医療の連携	○地域メディカルコントロール協議会で救急搬送事例検討 ○傷病者の搬送および受入に関する実施基準(消防法改正)について県メディカルコントロール協議会で検討を開始
		救急蘇生法の普及	○AED普及のための講習会開催(再掲) ・県 開催回数: 32回 受講人数: 1,350人 ・各地区消防 開催回数: 1,188回 受講人数: 34,593人 ・日赤福井県支部 開催回数: 216回 受講人数: 7,554人 計43,497人
		広域災害・救急医療システムの適切な運用	○国の総合防災訓練および近畿府県合同防災訓練において情報入力訓練を実施
	災害時医療	DMATによる災害時医療体制充実	○近畿府県合同防災訓練にDMAT(5医療機関6チーム)が参加
		被ばく医療従事者の育成	○初期被ばく医療従事者の研修会を開催(参加者数 60名) ○国の研修事業へ参加(福井県内の参加者数 延べ107名)
		被ばく医療マニュアル作成	○県内関係者による被ばく医療ネットワーク検討会で、被ばく医療マニュアルを作成
	へき地医療	医師確保の支援	○総合的な医師確保事業の実施（後掲）
		へき地医療従事医師の養成	○県立病院による総合医を養成する研修コースの実施（後掲）
		巡回診療の実施	○無医地区等への巡回診療の実施(診療回数 201回)
		へき地の診療支援	○へき地支援計画の策定・実施 ○無医地区等の巡回診療の実施およびへき地診療所への代診医の派遣
	在宅医療	チームによる在宅医療体制確保	○ふくい在宅あんしんネットのモデル地区を新たに3地区指定(計5地区指定) 坂井地域: 坂井地区医師会 若狭地域: 社会保険高浜病院 奥越地域: 福井社会保険病院 丹南地域: 丹生郡医師会、鯖江市医師会、武生医師会 二州地域: 市立敦賀病院
		多職種スタッフの連携推進	
在宅医療技術の向上			
在宅医療への意識啓発		○福井坂井地域医療連携、在宅医療体制推進協議会において、在宅医療についての課題、取り組み等を検討	